

みんなの広場



元気よく笑顔で

お年寄りと交流

大須中学校

10月7日(木)、大須中学校の全校生徒が、特別養護老人ホーム雄心苑を訪れ、施設の清掃とお年寄りに合唱などを披露しました。

生徒たちは「お年寄りの方に喜んでもらえるように、笑顔で南中ソランを踊り、元気よく合唱を歌います」と話し、ステージに上がりました。

お年寄りは、中学生の元気な踊りに大きな拍手を送り、合唱「ふるさと」



や「大須中学校校歌」などを聞くと、一緒に口ずさむ方や手拍子をしてリズムをとる方もいて、生徒たちのさわやかな歌声を楽しんでいました。

最後に、生徒の代表が「これから寒くなるので風邪などひかないように過ごしてください」と温かい言葉が贈られました。

今月の表紙から

10月9日(土)から11日(月・祝)まで、仙台・宮城【伊達な旅】キャンペーンの一環として、蒸気機関車SLホエール号が秋の石巻を駆け抜けました。

SLホエール号は、石巻線小牛田―女川間を一日一往復し、市内では、前谷地駅、石巻駅、渡波駅に停車しました。

期間中、駅構内や石巻線の沿線には、多くの家族連れや鉄道ファンがその勇姿を一目見ようと訪れ、各停車駅では、さまざまな運行イベントも行われました。

SLが石巻線を運行するのは、今年で4年連続となり、年々、SL運行を楽しみにしている方が増えているようです。





スポット① スライ

体育・スポーツだからこそ できる国際協力



▲佐藤国正さん
(日和が丘)

今回は、遠いアフリカの地に単身乗り込み、バレーボールを通してスライのすばらしさを広めてきた佐藤さんを紹介します。

佐藤さんはバレーボールが好きで、発展途上国の人にも教えたいという思いで、2008年から今年9月までの2年間、青年海外協力隊員としてアフリカのニジール共和国で活動してきました。

○現地の生活はどうだったか？

衣食住に関して日本では当たり前のことでも、現地では、とても気を使います。しかし、ニジールの人々は、他人に対しての気配り、やさしさにあふれていました。

例えば、

朝にあいさつするときは、「体は大丈夫か？調子はどうか？」などの声を掛けてもらい、夕方また、会ったように同じように



▲大会で優勝し、選手に胴上げされる佐藤さん



▲選手に指導する佐藤さん

れます。とてもうれしく、その気配りにいつも心が温まる思いでした。共存意識が高いためなのか、家族や地域を大切にすることが育まれているからだと思います。○これからの夢は、人は可能性が無限大にあると思うので、可能性がある限り、これからも体育・スポーツだからこそできる国際協力に携わっていきたいと思えます。

ニジール共和国
西アフリカのサハラ砂漠・サヘル地帯に位置し、面積は約126万7千平方キロメートル、国土の3分の2が砂漠であり、気候は、雨季と乾季に分かれ、6月～9月は雨季になり、気温は15℃～45℃である。人口約1,467万人。公用語はフランス語であるが、その他の現地語が複数ある。主な産業は、農業・畜産業・鉱業がある。

にぎやか家族 ⑥1

旭町



左から なつほさん、悠太くん、悠馬くん

《将来の夢》

- 勝 又 悠 馬くん (中1) スポーツ選手
- なつほさん (小4) 陸上選手
- 悠 太くん (小1) 野球選手

<お母さんから一言>

兄弟ゲンカばかりしないで、これからは仲良くしてください!

長寿のひけつ



43



佐々木 正義 さん
(93歳)
雄勝地区船戸神明

早寝早起きで、三食きっちり食べる。特に毎日食べるのは、刺身、薬味のにんにくと二合の晩酌(熱燗)です。サプリメントの摂取もありません。趣味は40年以上続いている盆栽と仏壇用の切り花作りです。とにかくじっとしているのが嫌いで、現在も自宅の裏山を散策しています。

※「みんなの広場」に紹介したい方など情報をお待ちしています。
※市報に掲載している写真を、写っている方に差し上げます。
☎ 秘書広報課 (内線 4025)

みんなの広場